

# ともに歩む

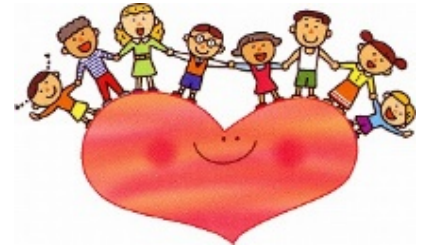


新発田市立藤塚小学校  
人権教育、同和教育便り  
令和2年7月31日 No.1

## 「人権学習」に取り組んでいます。

### ～互いを認め合い、共に生きようとする子どもの育成～

藤塚小学校では、令和2年度校内研修において、人権教育、同和教育と道徳教育を推進しています。「互いを認め合い、共に生きようとする子どもの育成」を研究主題として、全職員で取り組み、活動や授業の効果を検証していきます。



### 「人権教育、同和教育」とは

「人権教育、同和教育」とは、人権に対する意識を高め、人権感覚を磨き、「差別をしない、差別を許さない、差別に負けない」人間性を育てる教育です。

「人権教育」の目的は、すべての人々に人権尊重の精神の涵養を図ることです。人権についての知識理解を深め、豊かな人権感覚を養い、人権を尊重する意欲や態度を育てる教育のことです。

「同和教育」とは、同和問題をはじめとするあらゆる差別、偏見、いじめ等について学習し、差別や偏見を見抜き、それらを許さない意識や態度を育てる教育のことです。同和教育では、「差別の現実に学び、被差別の立場に寄り添う」ことを大切にした学習を進めています。

(新潟県人権教育基本方針、同和教育基本方針より抜粋)

藤塚小学校では、「人権教育、同和教育」について、次のような活動に取り組めます。

### ①全学級で「人権学習」に取り組む

年間をとおして、差別やいじめ等を題材にした「人権学習」を行います。総合的な学習の時間や生活科での「人と出会う活動」との関連を図ったり、異なる考えの児童とかかわり合って考えを深めたりする授業づくりを行っています。3学期には、全校一斉の「人権学習」の学習参観を予定しています。

#### ≪1学期の授業の様子≫

4年生人権学習 題材名「図工室でのできごと」



題材として子どもたちにとって身近な問題を取り上げたことで、真剣に考える姿が見られました。

## 2年生人権学習 題材名「学びゆう会で」



主人公「わたし」はアレルギー疾患のため、心ない言動を受けてつらい思いをしています。「わたし」の気持ちを考えたり、学級の友達の気持ちを想像したりすることで、一人一人が主人公の心に寄り添った手紙を書くことができました。

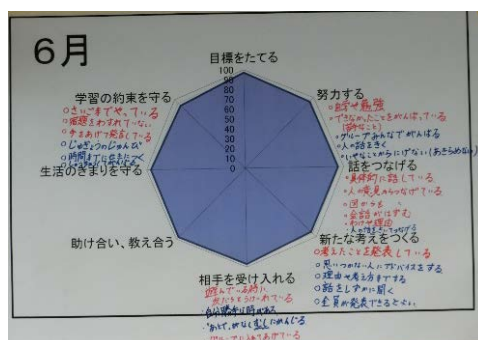
### ②互いを支え合う力を高めるために学級全体で考える～支持的な学級風土づくり～

子どもたちが互いを支え合う力を高めるための取組を行います。

学級の様子について、アンケートをもとに数値化して子どもたちに提示します。そこから、さらによい学級にするための方策について、学級全体で考えていきます。

子どもたちに考えやすくさせるため「目標パワー」「がんばりパワー」

「なかよしパワー」「発言パワー」「考えいっぱいパワー」「きまりパワー」「約束パワー」などのキーワードを使って、毎月学級で話し合いを進めています。



具体的なめあてとして、「話を静かに聞く」「全員が発表できるようにする」「次の授業の準備をしてから遊ぶ」などが挙げられています。

### ③全校で「人権」について考える

全校で一緒に「人権」について考える場として、「全校人権集会」を開催する予定です。今までの人権学習で学んできたことを発表し合ったり、学年の枠をこえて話し合ったりすることで、一人一人の人権意識を高められるようにします。

### ④保護者や地域の方々とともに「人権」について考える

今年度のPTA講演会は、「人権教育、同和教育と子育て（仮）」を予定しています。保護者の皆様にも、ご参加いただき、人権教育、同和教育についての理解を深めていただければありがたいです。

PTA講演会「人権教育、同和教育と子育て（仮）」  
講師 新発田市教育委員会センター指導主事 坂井 智 様  
9月8日（火） 10：15から11：15  
藤塚小学校 体育館

